

ドローンで地域活性化

高萩市・茨城大・PRや交流へ協定 操縦者養成所



高萩市の旧君田小・中学校を活用した産業用ドローンの操縦者養成スクール「茨城航空技術研究所」(日立市、五十嵐則夫社長)と茨城大学人文社会科学部(水戸市)、高萩市の3者が14日、同施設を中心とした地域の活性化に関する協定を結んだ。3者による「市君田地域活性化協議会」を立ち上げ、定期的に会合を開きながらドローンを活用したPR活動や交流イベント

ト、地域経済の活性化策などに取り組んでいく。協定書に調印後、大部勝規市長は「市にとってドローンスクールは新たな地域資源として地元雇用の創出や地域経済の活性化、交流人口増などに期待している。産学官の連携を強め、地域の魅力を創り出した」と協力を求めた。同学部の内田聡部長は「高萩市に深く関わり、これまで以上に教育研究を高

地域活性化に関する協定に調印した茨城航空技術研究所の五十嵐則夫社長、高萩市の大部勝規市長、茨城大学人文社会科学部の内田聡部長(左から)＝高萩市役所

めたい。地域と学生が関わる中で大学の役割を果たしていきたい」と述べ、五十嵐社長は「連携協定によって地域のにぎわいを創出したい。大型連休や長期休暇などを利用して交流人口拡大を図りたい」と話した。

今後の取り組みは4月開催予定の同協議会で話し合っていくが、大学生が同研究所でドローンの操縦免許

を取得し、ドローンを使った活性化策などを市民や行政などを交えて検討していく。ドローンキャンペーンやドローンのプログラミングなどの学びの場を提供し、発表の場も設定したい考え。ドローンを使った観光PR動画の制作にも取り組む予定だ。(飯田勉)